

*Annual report*

立川市子ども未来センター  
市民活動支援  
アニュアルレポート 2022

10<sup>th</sup>

*Annual report*

立川市子ども未来センター  
市民活動支援  
アニュアルレポート 2022

## もくじ

|                  |   |
|------------------|---|
| 子ども未来センターという場所   | 5 |
| 市民活動支援とはなんですか？   | 6 |
| 市民活動支援5つの活動コンセプト | 8 |

## 令和4年度の活動報告

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| センターで活動する団体の数                      | 12 |
| 協働事務室「みらきち」ってどんなところ？               | 13 |
| コミュニティプログラムの実施回数                   | 14 |
| └ プログラム × ジャンル                     | 15 |
| エリア別プログラム実施状況                      | 16 |
| └ プログラム × エリア                      | 17 |
| プログラムのおまつり                         | 18 |
| 市民ボランティアの活動                        | 20 |
| 出張プログラム / 協働プログラム                  | 21 |
| ボランティア・市民活動センター定例会議 / 立川南口まちづくり協議会 |    |
| みらきちインタビュー「登録団体×自治会」               | 22 |
| プログラム参加者の傾向                        | 24 |
| 市民活動支援の広がりこれから                     | 26 |
| 1年間のできごと                           | 28 |



## 01

### 子ども未来センターという場所

立川市子ども未来センターは、子育て・文化芸術活動・市民活動の支援と行政機能の補完、そしてにぎわいづくりの拠点という5つの機能を備えた複合型公共施設として2012年12月にオープンしました。地下1階、地上2階の館内には、子育てひろば、会議室、アトリエ、ギャラリー、スタジオ、協働事務室、自主事業の「立川まんがばーく」など、様々な用途・機能に合わせた空間があります。なかでも市民活動支援

機能は、センターを中心に様々な主体とのつながりをつくり、活動を広げていくために、市民活動コーディネーターによる支援のしくみづくりを行っています。多様な機能を持つことで、地域の様々な世代の方たちが集い、つながることで笑顔が生まれ、立川市の未来につながる活動を支援していく施設となることを目指しています。

#### センターの5つの機能



1

#### 子育て支援

子どもと子育て家庭が立川市で安心して子育てができるよう様々な支援を行っています。

2

#### 文化芸術活動の支援

文化芸術の教室・講座の企画や、スタジオやアトリエ、ギャラリーなど多様な空間を貸出しています。

3

#### 市民活動支援

市民活動団体の活動の舞台として、様々なプログラムを展開するためのサポートを行っています。

4

#### にぎわいの創出

4万冊程度のまんがを楽しむ「立川まんがばーく」のほか、フリーマーケットなども開催しています。

5

#### 行政機能の補完

館内の錦連絡所では、各種証明書の発行や市税等の収納など一部の行政機能を行っています。

## 02 市民活動支援とはなんですか？

センターにおける市民活動支援とは、センターを舞台に活動するみなさんをサポートすること。これからの公共施設には、市民が施設の運営面にも積極的に関わられるしくみづくりが重要です。施設を利用するだけでなく、自分たちの活動を一般市民である来場者に「プログラム」として提供することで、センターの運営に参画し、訪れる市民とつながり、活動の輪を広げていくことを目的としています。また、市民活動

団体によるプログラムは、新たな仲間づくりやスキルや趣味の披露のほか、健康づくり、災害時の共助の関係づくりなど、公共的なサービスの一環も担っています。

広場やテラス、まんがばーくなど、センターのいたるところでプログラムが展開されることにより、市民が主体的に使いこなす新たな公共施設として市民に愛されることを目指しています。

### コーディネーターによる様々なサポート

センターには市民活動コーディネーターと呼ばれるスタッフが市民活動団体の活動支援を行っています。ここではコーディネーターによるサポートの一部をご紹介します。

#### 1 活動したい団体の発掘、ヒアリング・登録

センターで活動したい団体を対象に、支援機能や後述の5つの活動コンセプトに関する説明と現在の活動に関するヒアリングを行っています。これまでの活動状況やセンターでやってみたいこと、活動における強みや悩みなどを伺い、登録の審査と今後のサポートの仕方を考えます。

○ 団体の発掘・市民活動支援の説明・事前ヒアリング・登録審査



#### 2 プログラムの企画・準備支援

センターでやってみたいことを実現させるためのサポートとして、企画の相談やプログラムの内容に適した空間の提案、当日に向けたリハーサルなどを団体とともに進めます。より魅力的なプログラムにするために何度も話し合い、内容を検討することもしばしばあります。

○ プログラム相談対応・会場や備品の予約対応



#### 3 センターでの活動の広報・PR

センターでの活動を広く知ってもらうための広報活動も行っています。毎月発行される「プログラムカレンダー」や定期イベントのチラシ配布のほか、市民活動を紹介する展示、公式LINEやFacebookページの運用など様々な媒体で活動を発信しています。そのほかに視察やイベントでのPRも行っています。

○ プログラムカレンダー・公式LINEの運用・Facebookページの運用・Instagramの運用・視察や取材の対応



#### 4 プログラムの実施サポート

プログラム当日は、団体の活動を見守りながら写真撮影など活動の記録を行います。実施後は参加者にアンケートをと取り、プログラムに参加した感想などニーズを調査します。とりまとめた結果をもとに団体とふりかえりを行い、今後の活動につなげていきます。また、Zoomを使ったオンラインプログラムのサポートも行います。

○ 写真撮影などの記録・アンケートの配布・とりまとめ



#### 5 他団体・地域や企業とのネットワークづくり

同じくセンターで活動している他団体や地域団体、企業や学校など、様々な団体とのネットワークづくりもお手伝いします。自分たちだけではできないことがあっても、力を合わせれば大丈夫。団体のやりたいことを実現したり、悩みを解決したりできるようなつながりづくりを目指しています。

○ 懇親会の実施、地域・企業との協働イベントの企画実施



#### 6 協働事務室の運営・活用

プログラムの準備や打ち合わせのほか、他団体との交流の場としても利用できる協働事務室(みらきち)。団体の声を聞きながら、共有備品の設置や懇親会の開催など、新たな機能の追加や企画を実施しています。より使いやすい、活動しやすい環境づくりもコーディネーターの仕事です。

○ 共有備品の設置・管理



### 03 市民活動支援 5つの活動コンセプト

センターで活動する市民活動団体は5つの活動コンセプトを柱として活動しています。この5つのコンセプトはセンターがオープンする半年前、市内の市民活動団体を中心に開かれたワークショップで生まれたものです。この施設でどう活動するのか、どんな活動が求められているのか、ということ活動を自分たち自身が考え、話し合い、決めました。センターの市民活動支援は常にこのコンセプトとともに運営されています。



センターオープン前に実施されたワークショップの様子



[上] ゴスペル演奏 (春のみらきちピクニック・Gospelship United) / [左下] クリスマス会 (立川子ども劇場) / [右下] どんぐりゴマ (ボーイスカウト立川第10団)

#### 5つの活動コンセプト



#### 1 多世代が集まる場にしよう

- ・多世代が楽しめる、訪れたい活動をしよう
- ・子どもたちも参加できるプログラムを考えよう
- ・大人も子どもも安心できる空間をつくらう

#### 2 つながり大切にしよう

- ・つながり、協力・連携していこう
- ・新たな仲間をつくっていこう
- ・お互いの活動を尊重し合おう

#### 3 社会性を意識しよう

- ・市民のニーズに応えよう
- ・新しい公共サービスを提供しよう
- ・社会性のある活動をしよう

#### 4 楽しんで自主的に活動しよう

- ・まずは自分たちが楽しもう
- ・自分たちでつくりあげていこう
- ・できることから始めてみよう

#### 5 魅力的なプログラムをつくらう

- ・センター独自のプログラムを考えよう
- ・継続した活動を行おう
- ・プログラムのクオリティを大切にしよう



[左上] 鏡餅を作ろう！（わんぱく親父の会）／ [右上] ヤギまみれ（〇〇わんぱーく実行委員会）／ [下] 春の親子コンサート（パバママ子育て応援部Hiタッチ!!）

再びはじまる、  
新たにはじめる

## 令和4年度の活動報告

センターで活動する団体の数  
(登録団体数)

**50** 団体

令和4年度末の時点で、計50団体が登録し、センターで活動しています。今年度は、子育てやアート、社会教育をテーマに活動する団体が新たに仲間入り。登録団体のメンバーがこれまでの活動を派生させ、新たに団体を立ち上げる動きもありました。新型コロナウイルス感染症の拡大も落ちつきはじめ、コロナ禍前の活動の様子を取り戻しつつあります。

**登録団体一覧** 市内31団体 / 市外団体1団体 / 市内外18団体 \*五十音順

|                        |   |
|------------------------|---|
| 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 | アトリエくれよん / UMUM / 絵本208 / エンジョイノルディックウォーククラブ TOKYO / おはなし会 森のポケット / おはなしサークルぐりとぐら / 音楽地図 / コネルテ / Gospelship United / 鮭スベアレ / 3B 柴崎健康体操 / すこやかクラブ / OEVEC / 立川スポーツ鬼ごっこ部 / たちらぼ / T.K.Winds 吹奏楽団 / 特定非営利活動法人たちかわ多文化共生センター / Nomad Art / ノマドアート / 俳句錦の会 / パソコンライフ / ほっと♡ハート / Musica Promenade / 若紫の会 |
| 子どもの健全育成を図る活動          | 子育て・いれかわりたちかわり実行委員会 / SwingRing ~ふたご応援プロジェクト~ / 立川キラリっ子ファミリーカフェ / NPO 法人立川子ども劇場 / チャイルドラインたちかわ / Nijntje / パパママ子育て応援部 Hi タッチ !! / ひげじいさ〜ん / ベッコマ研究所 / ボーイスカウト立川第10団 / ポッコリン / Loving Kids / リトルジラフ / ワッカチッタ / わんぱく親父の会  |
| 社会教育の推進を図る活動           | キッズマネースクールひまわり校 / CoderDojo 立川 / 社会貢献活動団体 mokuromi / 立川0円ショップ縁側 / 中途失聴・難聴者「つばさの会」立川 / 東京にしがわ大学  |
| まちづくりの推進を図る活動          | 立川食べ歩き隊   |
| 人権の擁護又は平和の推進を図る活動      | あそぼう会 / 立川みらい / プラン多摩の会 / 錦法律を知る会   |
| 経済活動の活性化を図る活動          | BATON   |

活動ジャンルや活動年数を超えて、つながる活動の拠点

**協働事務室「みらきち」ってどんなところ？**

協働事務室は、団体が打ち合わせをしたり、プログラムの準備をしたりできる登録制のスペースです。市民活動コーディネーターが常駐しており、プログラムの企画やセンターの活用方法などについて気軽に質問・相談できるのが特徴のひとつ。今年度は、協働イベントの実施や勉強会などが再開したことで、活動の準備や打ち合わせのために協働事務室を利用する団体が少しずつ増え、日常でのにぎわいが戻ってきました。



**決起会（登録更新会）**

新年度の始まりに団体が集まり、昨年度のふりかえりや今年度やってみたいことを共有する『決起会』を開催しました。団体の活動を共有することで、他団体とつながるきっかけや新たな協働に発展する場面も見受けられました。



**スキルアップ勉強会**

協働事務室での取り組みとして、日々の活動で困っていることや足りないスキルを学ぶ勉強会を定期的に開催しています。今年度は、市民活動団体が立川市で活動するのに必要な資金を得るための補助金申請方法について学びました。





コミュニティプログラムの実施回数

# 340

回

コミュニティプログラムとは、センターに来館する市民に向けて登録団体が提供するプログラムのこと。見たり聞いたりするだけでなく、参加者同士、または団体スタッフとの交流が生まれる仕掛けがあるのが特徴です。今年度は、新型コロナウイルスの影響を受けて活動を休止していた団体の多くが、対面での活動を再開しました。プログラムの実施件数も徐々にコロナ禍前の状態に近づき、以前の活気が戻りつつあります。

プログラム × ジャンル



+ アート

絵を描くのが苦手な人でも上手にイラストを仕上げることができる、チョークアートのプログラム。色をぼかしたり、混ぜたり。コツをつかんで、想像以上の出来に会場では喜びの声が上がりました。



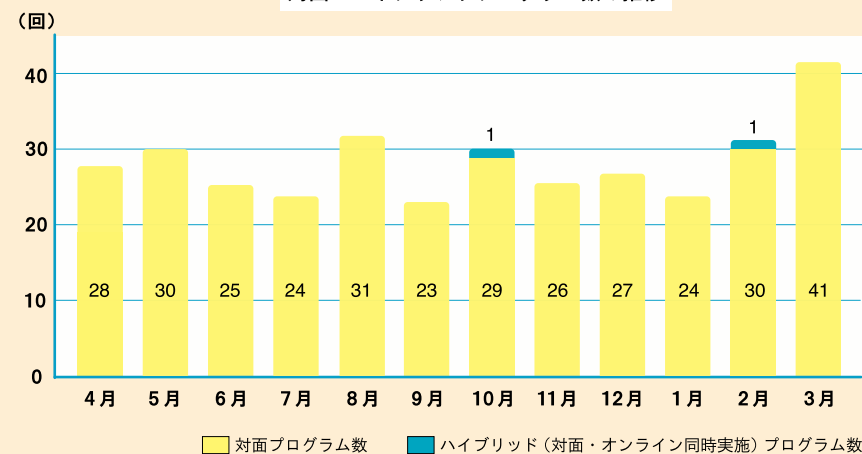
+ スポーツ

2本のポールを使って関節への負担を軽減しながら、大人から子どもまで気持ちよく体を動かすことができるノルディックウォークプログラム。リピーターも多く、マイポールを手に入れた参加者も。

## プログラム数の月別推移

今年度も、団体の活動テーマに合わせて様々なジャンルのプログラムが実施されました。感染状況が落ち着いたことで、3年ぶりに対面での協働イベントも実施され、活動を再開する団体も。コロナ禍で増加したオンラインプログラムの実施はなかったものの、オンライン、対面の両方から参加できるハイブリッド式のプログラムが実施されました。

対面/ハイブリッドプログラム数の推移



+ ハイブリッド

国際ガールズデーに合わせ、世界で取り組まれる各国の女の子を守るための支援について紹介するプログラム。対面、オンラインの両方から参加でき、講師も交えて活発な意見交換が行われました。

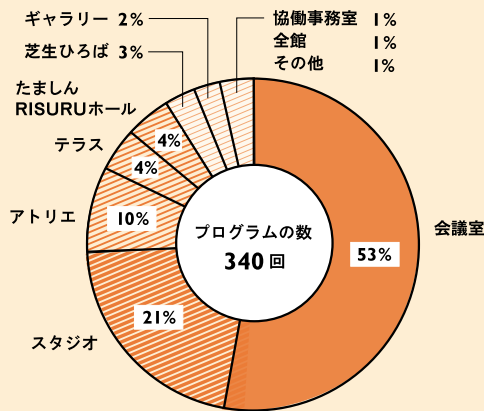


+ 交流

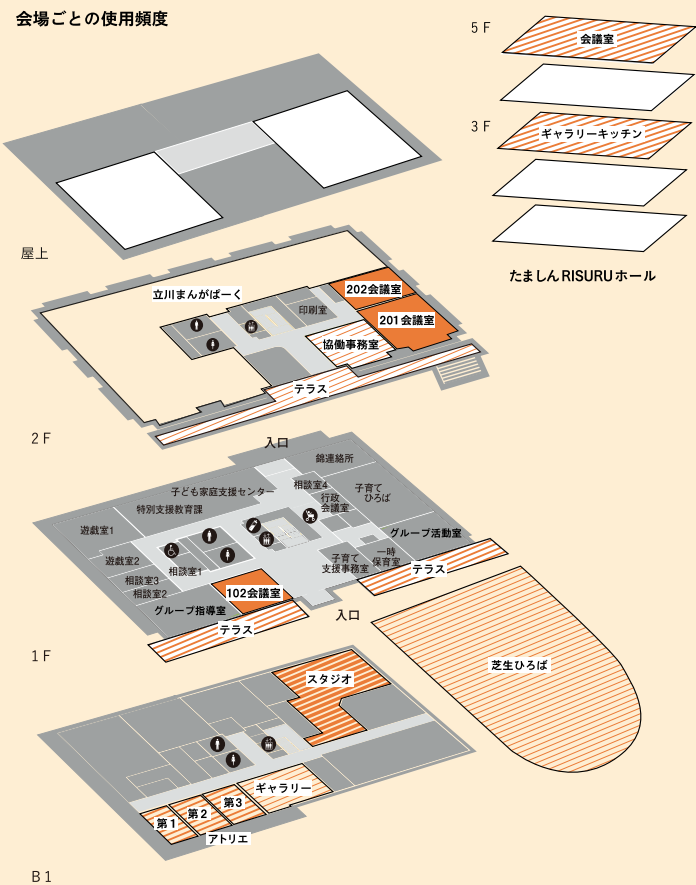
使わなくなったおもちゃや子ども服を、無料で出品するギフトエコノミーのプログラム。子育て経験のある出品者と、これから子育てをする参加者の間で交流が生まれ、にぎやかな空間となりました。

## エリア別プログラム実施状況

今年度は、会議室に次いでスタジオとアトリエの利用が多い1年でした。スタジオは、ヨガや体操などのスポーツ系のプログラムだけでなく、大きな鏡を活かした浴衣の着付け体験も実施されました。また、アトリエでは工作プログラムのほか、小さめの空間を活かしちょうど良い距離感で、少人数の参加者同士が交流するプログラムも実施されました。



会場ごとの使用頻度



## プログラム × エリア

+ 会議室+テラス



毎月第3日曜日に実施されている親子向けプログラム。テラスをステージにして踊ったり歌ったり。半屋外空間を利用して、親子でのびのび大きく体を動かしにぎやかなクリスマス会を楽しみました。

+ 館内回遊



妊婦さんの日常動作を擬似体験するプログラム。実際に妊婦体験ジャケットを着用し、館内を回遊しながら、日常の動作を体験することで、妊婦さんの置かれる状況を知りきっかけになりました。

+ 芝生ひろば



芝生ひろばをいっぱい使って楽しむスポーツ鬼ごっこ。広々とした芝生と秋晴れの空の下、子どもから大人まで多世代が、大きく体を動かしながら運動の秋を満喫しました。

+ 全館



おがくず、墨、音、段ボール、水などさまざまな素材やヤギにみられることができるプログラムが、センターのあちこちに。子どもたちが普段できない体験を、全身でおいっいきり楽しみました。

## プログラムの おまつり

複数の団体が同日にプログラムを実施する「プログラムのおまつり」は、毎年恒例の協働イベントです。当日にむけ数回の作戦会議を開き、団体同士で意見交換をしながら企画を練り、イベントをつくりあげます。今年は、地域の自治会や企業の協力を得て、コラボプログラムの実施や会場を装飾しました。

### 夏

#### さんさんガーデン

コロナ禍の影響を受け、約3年ぶりに対面での開催となった夏のイベント『さんさんガーデン』。準備期間中に感染者数が増加したことで中止となったプログラムもありましたが、当日は多くの参加者でにぎわいました。全館を貸し切り、水遊びやバザーなど団体の活動と夏の楽しみを合わせた9種類のプログラムが実施されました。夕方からは、大人も子どもも楽しめる「さんさん盆踊り」を中心に、浴衣の着付けや縁日のプログラムが実施され、久しぶりのお祭りをおもいきり楽しむ様子が見られました。



#### トピック

1

イベントの会場装飾に使用されたカラフルな提灯は、近隣の自治会「錦よし会」からお借りしたものです。夕方から実施した『さんさん盆踊り』の会場で、お祭り気分を盛り上げてくれました。



#### トピック

2

イベント全体の受付を設け検温・アルコール消毒・連絡先の記入など感染症対策を徹底しました。受付を通った参加者はマスクにシールを貼ることで、参加者と一般来館者を見分ける工夫をしました。



### 春

#### 春のみらきちピクニック

春を楽しむプログラムが盛りだくさんのイベント『春のみらきちピクニック』。今回は「春のおでかけ」をテーマに開催しました。テーマに合わせて、会場は屋外、半屋外空間を中心に、フリーマーケットやものづくり、音楽、おはなし会など12種類のプログラムが実施されました。芝生広場の空きスペースのピクニックエリアでは、家族でランチやおしゃべりを楽しんでいる様子も。マスクの着用は個人の判断に任せるなど、運営体制もコロナ禍前の状況に少しずつ戻ってきました。



#### トピック

1

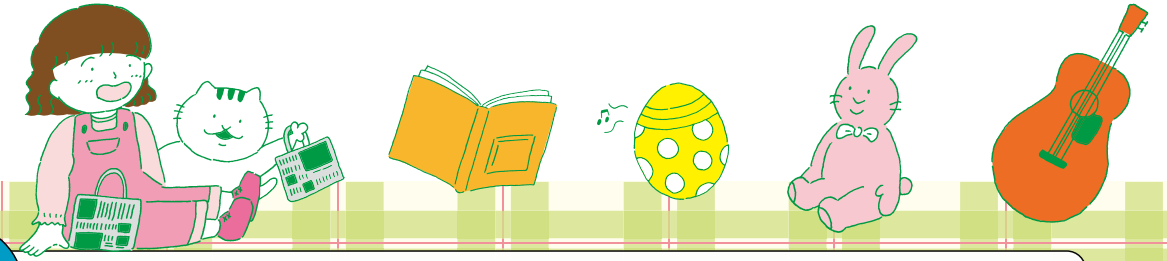
近隣の印刷会社「福永紙工」から端材を提供してもらい、プログラムや会場装飾に活用しました。当日は、福永紙工の直営店「SUPER PAPER MARKET」でコラボワークショップも実施しました。



#### トピック

2

回遊のしかけとして、来場者に新聞バックを配布しました。各プログラムに参加すると飾りがもらえ、バックを装飾することができます。子どもたちは会場を巡りながらバックづくりを楽しみました。



## 市民ボランティア の活動紹介

「団体には所属していないけれど、センターやまちで活動してみたい！」という思いを持った市民の皆さんを、『イベントサポーター』、『アクティベーター』と呼ばれる2つの関わり方で活動の支援をしています。イベントづくりの一連の流れを経験する『イベントサポーター』を経て、『アクティベーター』として活動するメンバーも多くいます。

### イベントサポーターの活動

プログラムの実施や運営サポートを通して一緒に協働イベントを盛り上げていくメンバーのことを、『イベントサポーター』と呼んでいます。今年度は、春の協働イベント『春のみらきちピクニック』にあわせてサポーターを募集しました。メンバーは参加団体のサポートやプログラムの企画・実施、福永紙工とのコラボワークショップのサポートもしました。



## 出張プログラム

普段はセンターが会場となるコミュニティプログラムですが、地域団体や企業と連携し、市内各所で実施されることも。センターの活動を広く周知できる貴重な機会となっています。

### にわヨガ@昭和記念公園

自治会との協働プログラムとして、昭和記念公園で実施されたヨガのプログラム。小学生からシニアまで幅広い年代が参加し、普段のコミュニティプログラムとは違う層の参加者が集まりました。出張プログラムを実施したことでセンターの市民活動支援を周知することもできました。



## 協働プログラム

自分たちだけではできないことも、他の団体と力を合わせれば実現できる。協働プログラムは、互いのスキルを活かして、新たなことに挑戦し、活動の幅を広げることができます。

### 夏のおはなし会

3団体が本番までの練習や会場装飾、プログラム構成などで協働し、夏ならではのおはなしや絵本の読み聞かせを披露しました。紙粘土でかわいい人形やオブジェをつくる団体も参加し、おはなし会の後、紙粘土人形のおみやげももらえ、子どもたちの大満足な顔が印象的でした。



### アクティベーターの活動

普段のコミュニティプログラムの実施や登録団体の活動をサポートする市民ボランティアメンバーを、『アクティベーター』と呼んでいます。現在4名のアクティベーターが活動中。今年度は、登録団体同士による協働プログラム『〇〇わんぱーく』に参加するなど、各々が自分のライフスタイルに合わせて、活動に取り組んでいます。



### ボランティア・市民活動センターたちかわの定例会議

ボランティア・市民活動センターたちかわが主催する運営委員会に月に1回程度、オブザーバーとして参加しています。市民活動や福祉活動に関する動向を共有しあい、団体の活動に活かせるよう意見交換をしています。



### 立川南口まちづくり協議会

立川南口まちづくり協議会に定期的に参加しています。今年度は、立川駅南口の歩道に設置しているベンチ「Tベンチ」の製作の一部に参加しました。今後も地域連携の機会を図り、市民活動支援の取り組みの幅を広げられるよう地域とのネットワークづくりを目指していきます。





自治会×登録団体  
**みらきち  
 インタビュー**  
 vol.3

**2022年度は出張プログラムとして、自治会と登録団体の協働プログラムを昭和記念公園で実施しました。今回は、曙町一丁目西町会 副会長の萩生田さんと東京にしがわ大学の保坂さんに、プログラム実施のきっかけやプロセス、今後の活動についてお話を伺いました。**

**Q. 協働プログラムを実施したきっかけはなんですか？**

**曙町一丁目西町会 萩生田さん**（以下、萩生田さん）：立川市の市民協働課から自治会の公会堂の有効活用について話があったことがきっかけです。子ども未来センター（以下、センター）での市民活動は私もよく知っていたので何かできそうかなと思ひ、前向きに話を進めました。これまで色々な提案がありましたが、他施設や団体との協働プログラムとして実現できたのが今回のプログラムでした。

**東京にしがわ大学 保坂さん**（以下、保坂さん）：私はセンターのコーディネーターからお話をもらいました。コーディネーター皆さんと一緒に自治会の公会堂やオンラインでも何度か打ち合わせしましたよね。

**Q. 協働する上でお互いに期待したことはなんですか？**

**萩生田さん**：自治会はどこも慢性的に人手不足です。自治会だけでなく子ども会の加入率も下がる中で、若い人が参加できるきっかけが欲しいと思っていました。自治会だけでもどうしても閉鎖的になってしまったり、やるのが固定化されてしまったりするので、協働することで新しい活動が実施できるんじゃないかと思っていました。また、他の自治会が参考にできるような前例をつくりたいと思っていましたね。

**保坂さん**：私は、センターに普段来ていない方に活動のお知らせができたかと思っていました。センターでのプログラムの参加者はリピーターも多く、もっと広く地域の方に活動を知ってもらいたいと思っていました。

**Q. 実施に至るまでにどんなプロセスがありましたか？**

**保坂さん**：当初の予定では、昭和記念公園で実施しようというヨガ単体のプログラムを数回実施して活動の周知をしてから、収穫祭（自治会主催のイベント）でのヨガプログラムにつなげようと考えていました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により中止になってしまい、いきなり収穫祭でヨガプログラムを実施することになりました。焼きそばを焼いているすぐ横で参加者の皆さんとヨガをしたのはとても面白かったですね。

**萩生田さん**：ヨガは意外と疲れるから収穫祭のシチュエーションがかえって良かったかもしれないですね。当日は、座りきれないくらいの参加者が集まりました。収穫祭でヨガのプログラムをやってみて、やっぱり昭和記念公園で協働プログラムを実施してみたいよねという話に至りました。

**保坂さん**：昭和記念公園でプログラムを実施するために、まずはセンターに告知用のチラシを掲示したいと思ひ、私がベースとなるデザインをつくりました。萩生田さんには、自治会用に修正してもらい、会報にも載せてもらいました。

**萩生田さん**：当日は参加者の半分以上を自治会枠で、もう半分はセンターのコミュニティプログラム参加者枠で募集しました。満員御礼でしたよ。

**保坂さん**：自治会からは子どもから年配の方まで、幅広い年齢層に参加してもらいました。いつもセンターに来てくれる参加者と一緒にヨガができたので、初めての場所でも安心してプログラムを実施することができました。

**Q. 協働後、自治会や団体の活動に変化はありましたか？**

**萩生田さん**：コロナ禍でどの自治会も自粛をしていましたが、中でも活動を再開できたのは大きかったです。そのおかげで、近年、全国的に自治会の加入率は減少傾向にあり

ますが、私たちの自治会の会員数は現状維持をしています。

**保坂さん**：センターで市民活動団体が実施しているコミュニティプログラムのことを知らない人が多くいたことが意外でした。だからこそ、自治会の皆さんと協働することで活動を周知するいい機会になりました。

**Q. これからの活動について聞かせてください！**

**萩生田さん**：なかなか活動ができない町会も多くあるので、一緒に協働して今回のようなプログラムを実施してみたいですね。町会同士とセンターで活動する市民活動団体の協働みたいな感じで。さまざまな町会に新たな風を入れていきたいと思ひます。自治会は動き続けないと衰退してしまいますが、今回「東京にしがわ大学」が自治会と協働してくれたおかげで、活動的に動くことができています。

**保坂さん**：自治会主催の収穫祭でヨガをする機会がとても面白かったので、またやりたいですね。昭和記念公園でのヨガも気持ちよかったですし、普段あまりないシチュエーションでヨガプログラムを実施する企画もまたチャレンジしてみたいです。

**萩生田さん**：ぜひまたやりましょう！



東京にしがわ大学  
 保坂美紀さん

子どもと一緒に参加できる内容、初心者やシニア世代を対象としたヨガプログラムをセンターで定期的に実施している。

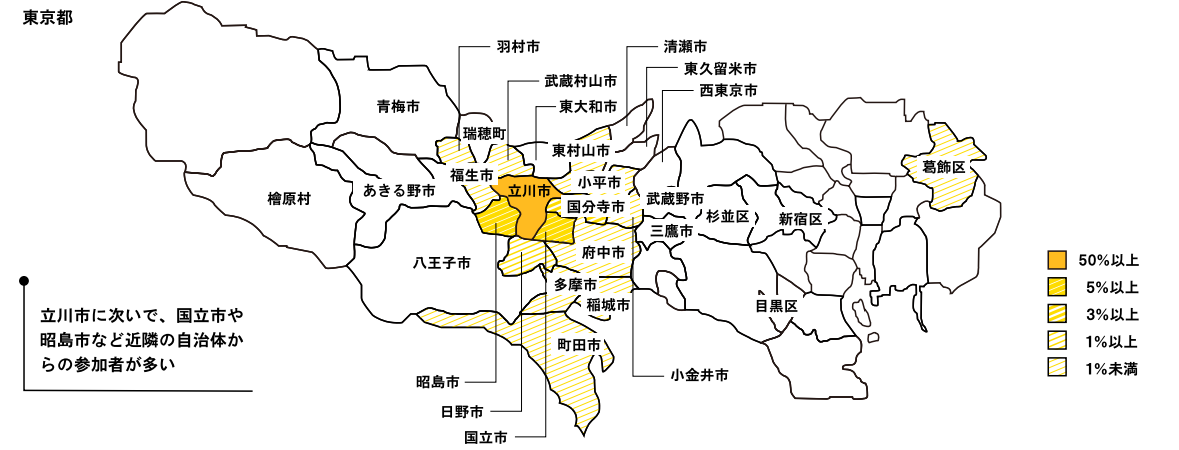
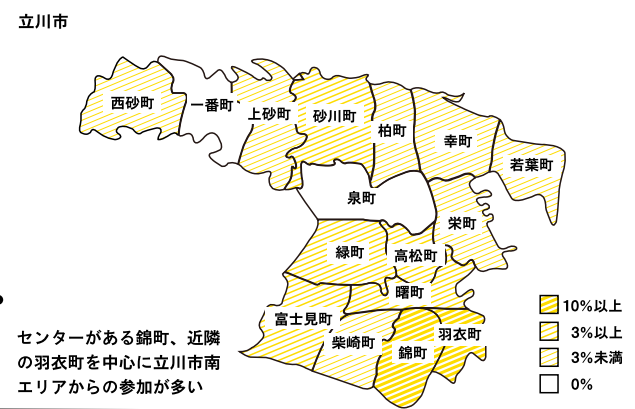
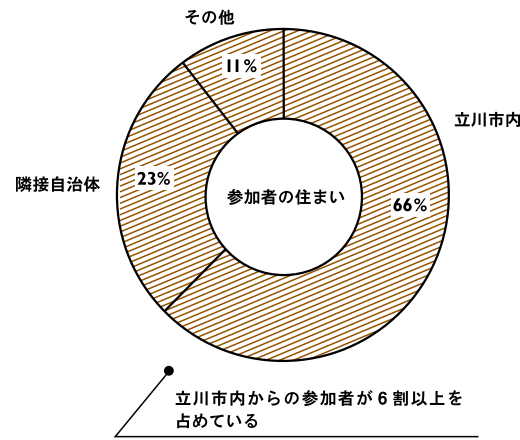
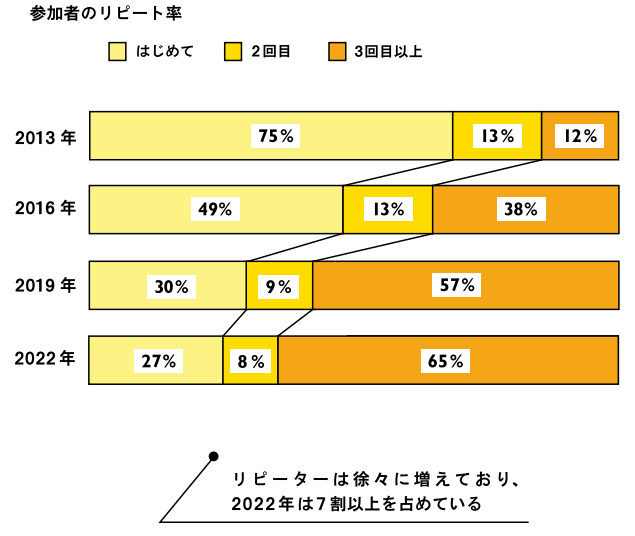
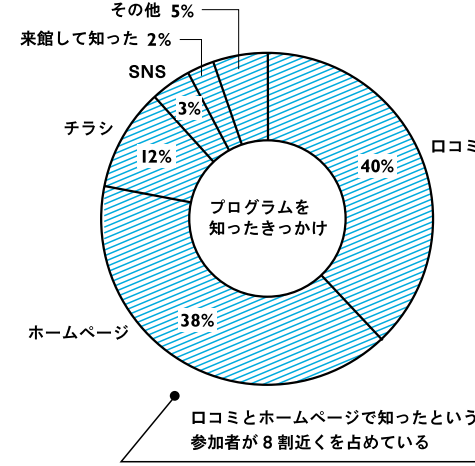
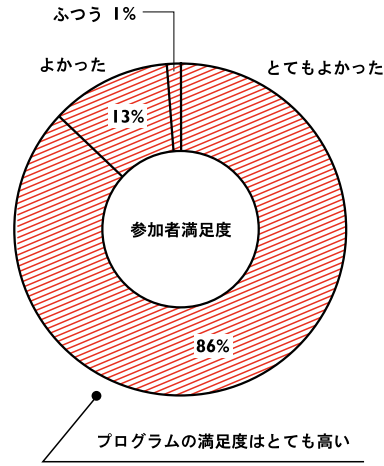
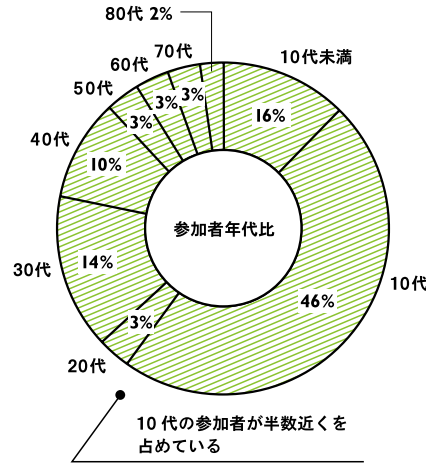
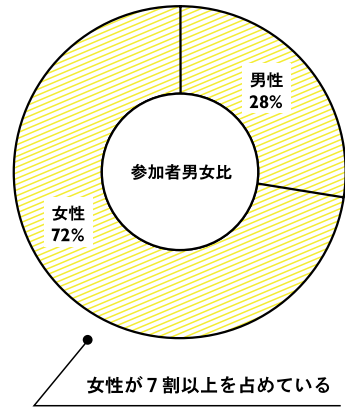


曙町一丁目西町会  
 副会長 萩生田茂利さん

立川駅北口エリア、昭和記念公園にほど近い自治会。防災などをテーマに年に数回地域イベントを企画・実施している。

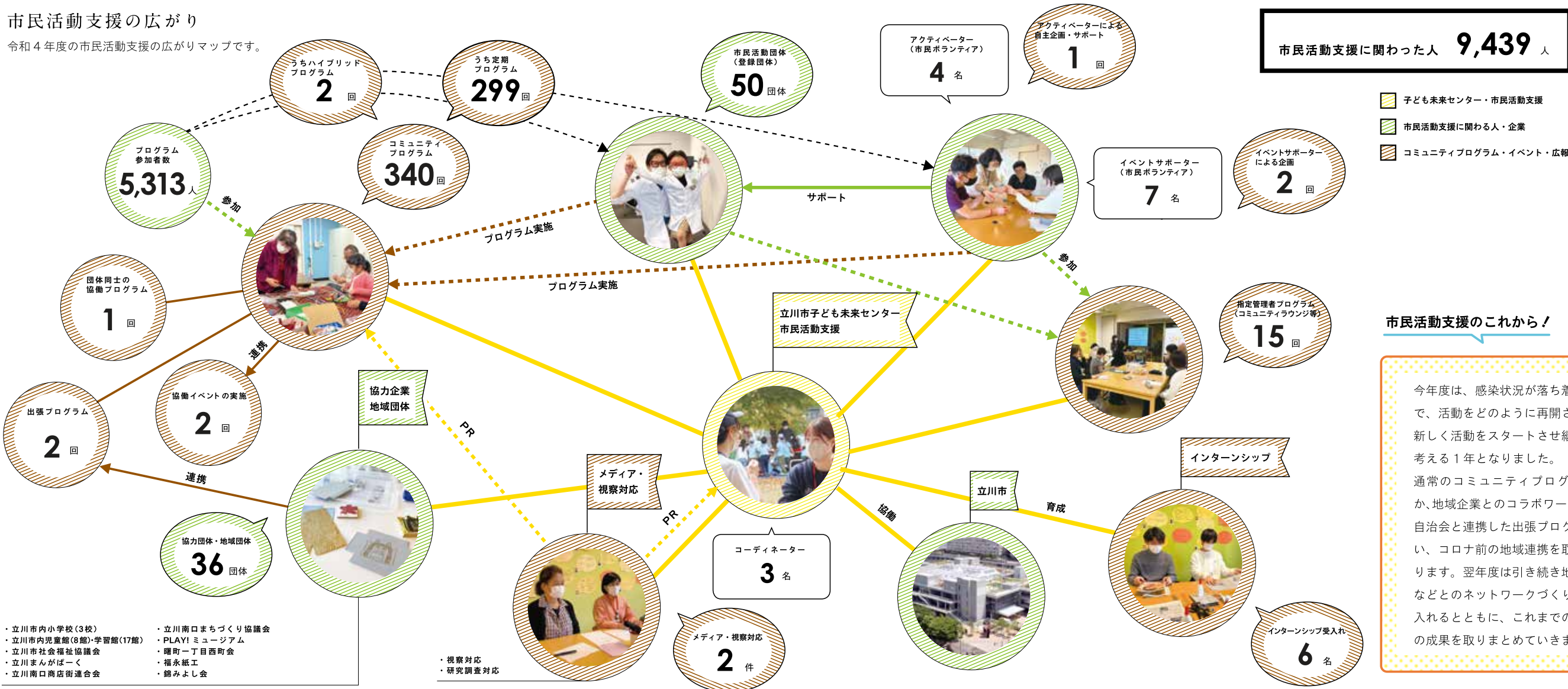
# プログラム参加者の傾向

参加者アンケート コミュニティプログラムに参加した方のアンケート結果をご紹介します。(回答者数 783名。未回答を除く)



# 市民活動支援の広がり

令和4年度の市民活動支援の広がりマップです。



- ・立川市内小学校(3校)
- ・立川市内児童館(8館)・学習館(17館)
- ・立川市社会福祉協議会
- ・立川まんがぼーく
- ・立川南口商店街連合会
- ・立川南口まちづくり協議会
- ・PLAY! ミュージアム
- ・曙町一丁目西町会
- ・福永紙工
- ・すみよし会

- ・視察対応
- ・研究調査対応

## 市民活動支援のこれから!

今年度は、感染状況が落ち着いていくなかで、活動をどのように再開させるか、また新しく活動をスタートさせ継続させるかを考える1年となりました。通常のコミュニティプログラム開催のほか、地域企業とのコラボワークショップや、自治会と連携した出張プログラムなどを行い、コロナ前の地域連携を取り戻しつつあります。翌年度は引き続き地域団体や企業などとのネットワークづくりや協働に力を入れるとともに、これまでの市民活動支援の成果を取りまとめていきます。

1年間のできごと

令和4年度

- 4月 ・今年度の取り組みを登録団体同士で話し合う決起会を開催  
・プラン多摩の会による「映画上映会」をハイブリッドで実施
- 5月 ・7団体と1名のアクティベーターによる協働プログラムが実施される〔〇〇わんぱーく〕  
・自治会との協働プログラムを実施〔にわヨガ@昭和記念公園〕
- 6月 ・各団体と夏の協働イベントの準備をはじめめる  
・市民ボランティアプログラム「夏のイベントサポーター」の活動が始まる
- 7月 ・コーディネーターが自治会「錦みよし会」の盆踊りへ視察に行く
- 8月 ・夏の恒例、協働イベント「さんさんガーデン」が3年ぶりに対面で開催される
- 9月 ・「さんさんガーデン」ふりかえり会の実施
- 10月 ・「立川市まちづくり推進事業補助金」の勉強会を開催
- 11月 ・コーディネーターが「立川南口まちづくり協議会」へ参加
- 12月 ・わんぱく親父の会による「鏡餅づくり」を3年ぶりに実施
- 1月 ・各団体と春の協働イベントの準備をはじめめる  
・市民ボランティアプログラム「春のイベントサポーター」の活動が始まる
- 2月 ・パバママ子育て応援部 Hi タッチ !! による「あそび育児講座」をハイブリッドで実施
- 3月 ・春の協働イベント「春のみらきちピクニック」の開催  
・子ども未来センター 10周年  
・新型コロナウイルス感染症拡大対策としてのマスク着用が個人の判断に



〇〇わんぱーくの様子



「錦みよし会」の盆踊り



新聞バッグの作成

登録団体数(通算)

プログラム数(月間)

4月  
43 団体

4月  
28 回

6月  
44 団体

6月  
25 回

9月  
47 団体

9月  
23 回

12月  
49 団体

12月  
27 回

3月  
50 団体

3月  
41 回



